

令和 7 年火災・救急・救助発生状況（速報）

〔火災〕

● 火災件数	16 件	(前年比	2 件増)
● 焼損床面積	1,689 m ²	(前年比	381 m ² 増)
● 損害額※	46,280 千円	(前年比	30,167 千円減)
● 死者数	0 人	(前年比	増減なし)
● 負傷者数	1 人	(前年比	5 人減)
● 出火原因	たき火 5 件、不明・調査中 4 件、その他 2 件他		
● 建物火災の用途別	専用住宅 6 件、その他 3 件他		

※調査中を含むため、未確定値

- 火災件数は 16 件で、前年に比べ 2 件増加。
- 建物火災の約 55 % を専用住宅火災が占めた。
- 火災の原因は、「たき火」が 5 件（前年 1 件）、「不明・調査中」が 4 件（前年同）、「その他」が 2 件（前年同）、他 5 件。

〔救急〕

● 出場件数	2,826 件	(前年比	81 件減)
● 事故種別	急病 1,902 件	(前年比	67 件減)
	一般負傷 453 件	(前年比	38 件減)
	交通事故 150 件	(前年比	8 件増)
	その他 321 件	(前年比	16 件増)
● 搬送人員数	2,651 人	(前年比	49 人減)
● 年齢区分別	新生児 2 人	(前年比	5 人減)
	乳幼児 72 人	(前年比	6 人減)
	少年 71 人	(前年比	増減なし)
	成人 571 人	(前年比	25 人増)
	高齢者 1,935 人	(前年比	63 人減)

- 出場件数は約 2.8%、搬送人員は約 1.8% と、それぞれ対前年比の減少となつた。
- 事故種別のうち、急病が最も多く約 67% となり、過去 10 年でも全体の約 66% を占めている。
- 年齢区分別では、65 歳以上の高齢者が約 73% を占めた。

[救 助]

- 出場件数 50 件 (前年比 16 件増)
- 救助人員数 34 人 (前年比 11 人増)
- 事故種別
 - 交通事故 18 件 (前年比 3 件増)
 - 水難事故 7 件 (前年比 3 件増)
 - 機械事故 0 件 (前年比 1 件減)
 - 建物事故 12 件 (前年比 7 件増)
 - ガス酸欠事故 0 件 (前年比 1 件減)
 - その他の事故 13 件 (前年比 5 件増)

- 事故種別のうち、交通事故が最も多く 36% を占め、他の事故が 26%、建物事故が 24%、水難事故が 14% である。
- 交通事故は過去 10 年でも全体の 45% を占め、最多の種別となっている。

[119 番通報]

- 受信件数 3,953 件 (前年比 12 件増)
- 119 番受信件数は、3,953 件で前年に比べて 12 件増加し、一日平均の受信件数は約 10.8 件となっている。

以上